



稲美町立図書館 カレンダー



10月

かなづき
神無月

開館時間 9:00~18:00

ホームページアドレス
<http://www.inami-library.jp>

日	月	火	水	木	金	土	
1	2	3 資料整理日 はじめての 絵本運動 (4ヶ月児健診)	4	5	6 [国際協力の日] 	7	
8 [寒露] 	9 [体育の日] 	10	11	12	13 [サツマイモの日] 	14 としょかん えほん会 11時~ おはなし室	
15	16	17 としょかん よちよち えほん会 11時~ おはなし室	18	19 [住育の日] 	20	21 おはなしかい (スプーンおぼさん) 14時30分~ おはなし室	
22	23 [霜降] 	24	25	26	27 	28 としょかん えほん会+ 11時~ おはなし室	
29	30	31 [ハロウィン] 	本に 恋する 季節です! 				2017・第71回 読書週間

印は休館日

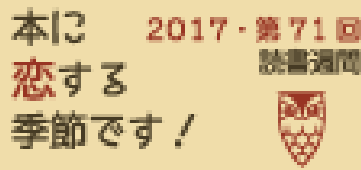
※寒露(かんろ)：初秋にかけて野草に宿る冷たい露のこと。
霜降(そうこう)：霜が降りることが多くなるころ。

「読書週間」マークの由来

その昔、ギリシャ神話の世界で「ふくろう」は、学問・技芸・知恵を司る美貌の女神アテナの使者であり、また、代表的なポリスで文化の中心地アテナイ(アテネ)の聖鳥でもありました。

古代のギリシャ人たちは、賢そうな丸い目に大きなメガネをかけた、すまし顔の「ふくろう」を知恵の象徴として大切にしていたといいます。

森の奥ふかく、静かに瞑想にふけるこの「ふくろう」の姿こそ、読書週間のシンボルマークとしてもっともふさわしいものと考え、読書運動推進協議会では長い間使用してきました。

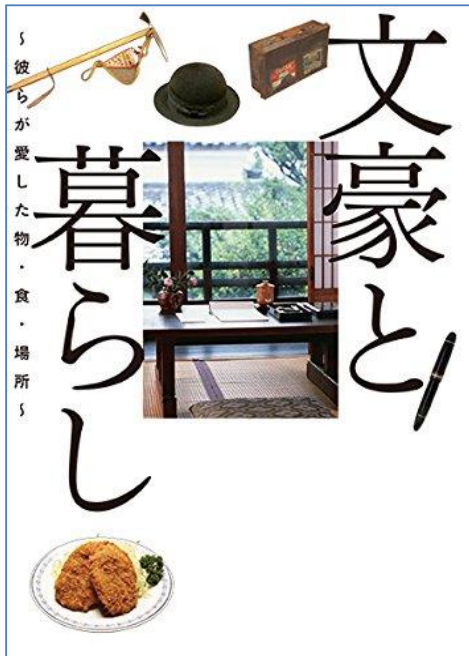


【公益社団法人 読書運動推進協議会HPより】



『文豪と暮らし』

(請求記号 910.2-ブ)



歴史に名を残した文豪たちが愛してやまなかったものたち。

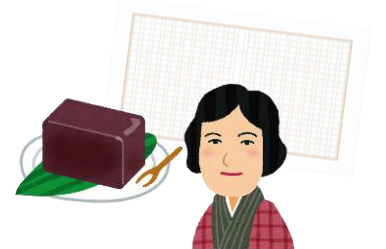
そこに目を向けると、彼らの素顔やライフスタイルが見えてくる

“文豪”といわれる作家たちが再び注目され、人気を博しています。明治・大正・昭和に活躍した文豪たちを語る上で欠かせない文具などの愛用品や執筆の友である煙草や酒、こだわりの宿などをクローズアップ。人気と実力を兼ね備えた大作家たちの知られざるお洒落なライフスタイルにフィーチャーし、個性豊かな人物像に迫るビジュアル書籍です。

本書では近代に活躍した47名の文豪の愛した物・食・場所を3章立てで紹介します。

「文豪が愛した物」については作家の使った実物を、「文豪が愛した味」については現代でも味わえるものを中心に取り上げています。

「文豪が愛した場所」については我々にとって馴染みのある観光地が多いことでしょう。



アマゾンより抜粋

季節にまつわる雑学

秋の虫の鳴き声



一年中、体温がほぼ一定の人間とちがい、虫は気温によって体温が変わるので、暑さ寒さの変化に敏感です。気温によって、活動が活発になったりにぶくなったりするので、鳴き声のテンポも変わってきます。気温が高いと羽の動きが活発になり、テンポは速くなります。逆に低いとテンポはゆっくりになります。

鳴くテンポによって外の気温がわかるのです。コオロギやスズムシが鳴くのは20度から30度ぐらい。15度まで下がったり、35度まで上がったりすると、ほとんど鳴くことはありません。夏のおわりには、涼しくなる夜になると鳴き

声が聞かれますが、秋がふかまって朝晩冷えこむようになると、昼間しか聞こえなくなるのです。



参考文献「天気でわかる四季の暮らし」